

重要な構成要素「^{かめやほんぼ}亀家本舗」

建築：昭和 40 年代

参道の景観を構成する要素

「亀家本舗」は、鉄骨造 3 階建て大規模間口の店舗です。創業 1901（明治 34）年の老舗で、葛飾柴又の伝統的な名物「^{だんご}草団子」を販売するほか、店内で喫茶や食事をいただくことができる店舗です。

現在の店舗は、昭和 40 年代に建て替えられたもので、広く開放的な間口の全面で対面販売が行われ、1 階奥及び 2 階は客席として使用されています。2 階の客席は、寄席や作品展などの様々なイベント会場としても使われています。

参道側の開け放した軒底下で草団子などの商品を対面で販売し、軒庇上には看板を置いています。参道側の外観は、ファサードが連続した参道において、屋根、^{ひさし}庇などのまちなみの表情を作る要素によって賑わいを演出しています。



昭和 30 年代の亀家（帝釈天題経寺提供）



昭和 30 年代の参道と亀家（川千家提供）